

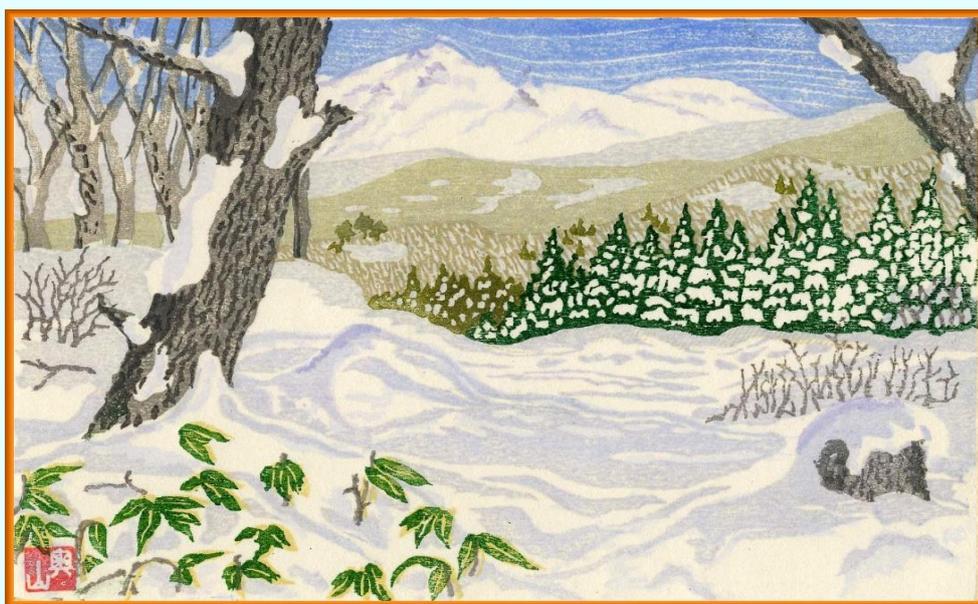
奥山さんの山岳風景版画

奥山本勝さんをご存知の通り、山男で知られ現役時代は日立会山岳部でご活躍されていました。そして山岳風景をこよなく愛し、それらを多色刷りの木版画にて素晴らしい作品に仕上げられています。今回その一部をお借りしここに紹介させていただきます。

1、山岳版画作成のきっかけ

版画は、40年程前から年賀状用にと、葉書サイズで始めたものです。当初は干支の動物絵で作っていましたが、正月用なので、雪に係わる絵がよいかとの思いから、冬景色とか、雪のある山の絵で作るようになりました。山登りの機会があり、更には退職後、雪国の秋田へ行く機会が多くなった等から、このような年賀の版画絵となりました。年賀状ですので、進歩のない年1枚だけ作成の版画絵です。

2、作品紹介



二、三日降り続いた雪が止むと、秋田駒ヶ岳が青空にスッキリとした姿を現して、雪晴れを感じます。そんな景色をと・・・。

平成10年用

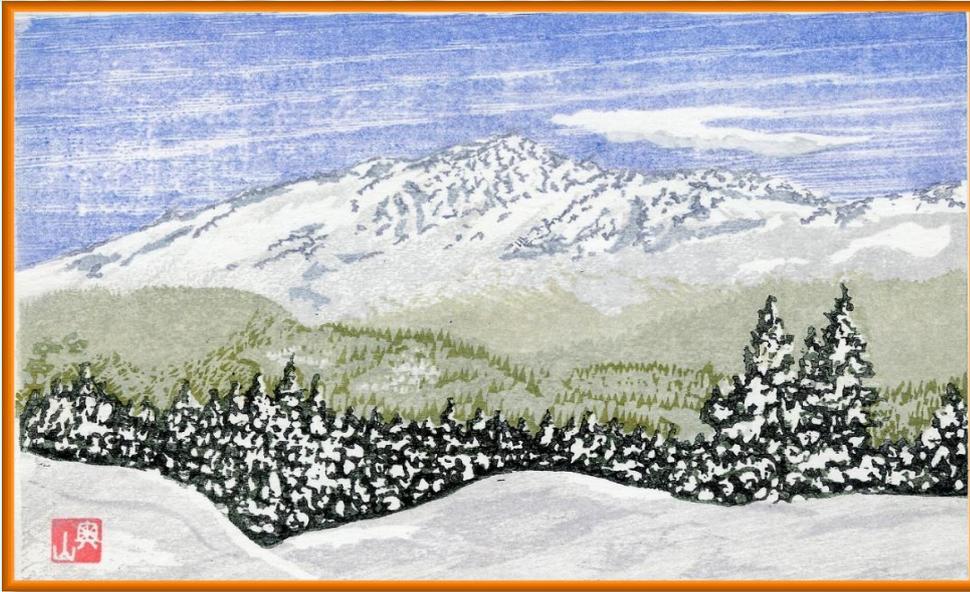
雪晴れて（10枚彫-13摺り）



七年前に、富士山を近くで眺めようと十里木高原の越前岳に登った時、越前岳の山麓は小さな豆桜が満開で、富士の姿が最高でした。

平成22年用

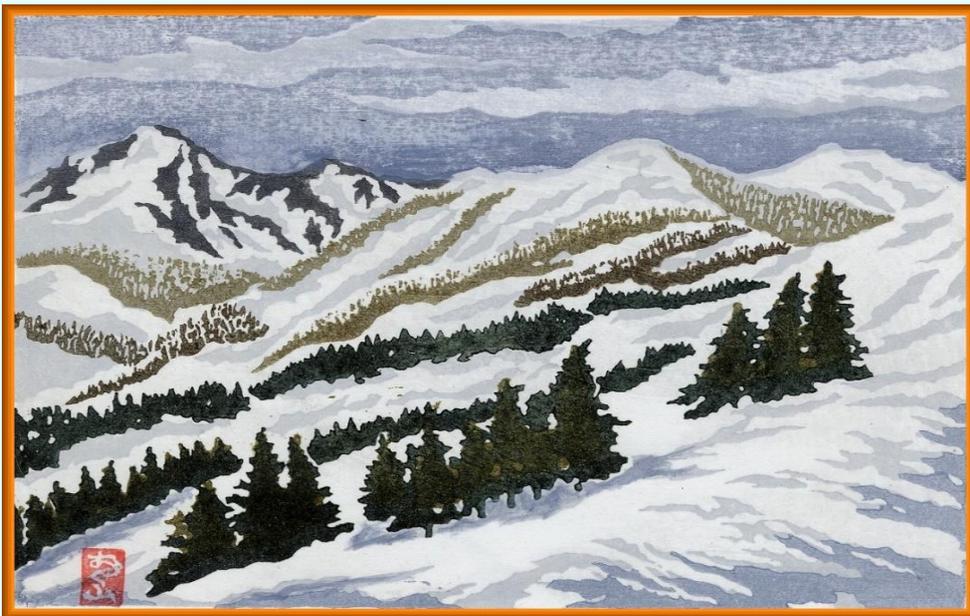
越前岳からの豆桜と富士山（8枚彫-9摺り）



杉林からの駒ヶ岳（10枚彫-12摺り）

杉木立に降り積もった雪が風で吹き飛ばされ、秋田駒ヶ岳の山頂付近は、風強く雲が流れて・・・。

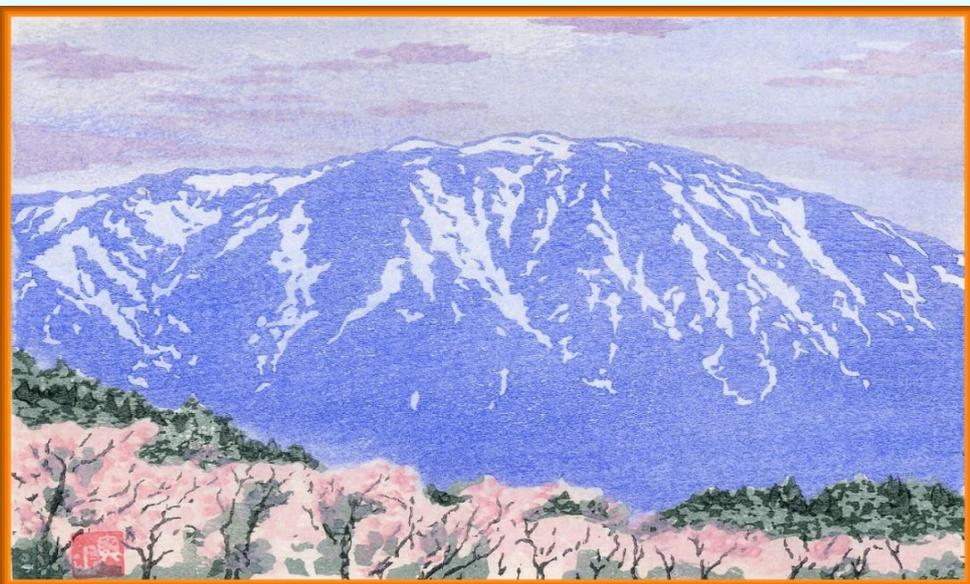
平成20年用



春浅い頸城の雪山（8枚彫-9摺り）

山裾の杉木立と山腹の雪落ちた林、嶺に未だ多くの雪を頂く春山を、若い頃訪れた新潟は頸城地方の春山を思い描いたもの。

平成27年用



桜咲く頃、残雪の岩手山（7枚彫-11摺り）

桜咲く頃、小岩井牧場から眺めた、白い残雪が多く沢筋に見える広い山腹の岩手山です。

平成17年用

